



東安居小学校便り

【校訓】

明るく 仲よく たくましく



【第2号】

令和7年5月16日

福井市東安居小学校

校長 林 秀昭

教育目標

豊かな心を持ち 主体的に学び合い たくましく生きる子の育成

鳩が教えてくれたこと

始業式からはや1ヶ月が過ぎました。1年生も学校生活に慣れ学校全体としても学習活動や行事など軌道に乗り、落ち着いた学校生活を送っています。4月は、交通安全教室や集団下校訓練、引き渡し訓練など子ども達の安全に関わる行事を充実させました。各地で起こる小学生を巻き込んだ事件や事故が多発しておりとても心配しています。これからも地震や火災、不審者などを想定した避難訓練や救命救急講習など計画的に行っていく予定です。

さて、今年も学校畑ではボランティアの方のお力をお借りして、野菜や草花の栽培を始めています。昨年は異常気象の影響で、春のキャベツがうまく育たず、枝豆は全滅、キュウリは巨大化し、大根は超小ぶりな出来映えになってしまうなどかなり苦労しました。今年は、子ども達が野菜の成長を目の当たりにして収穫の喜びを体験できるようにしたいものです。

そんな中、野鳥から子ども達が蒔いた大豆の種や小さな芽、収穫前の野菜などを食べ荒らされないように畑にネットをかけ対策を施しました。鳥は、何かが羽に触れることを嫌がる習性があるため、目の大きいネットも使い回しをしました。やっとの思いでネットをかけ、これで一安心と思っていたところに、二羽の鳩がやってきました。そこで、あろうことか、鳩はトコトコと歩いてネットの隙間から畑の中に入ってしまいました。せっかく芽を出した大豆の若葉をおいしそうについばんで去って行きました。

確かに、羽を広げれば入れないところでも、羽閉じて歩いて入れれば十分に入れてしまうのです。鳩は学習能力が高いために、人間が何を植えているのかも分かっているし、緑のネットは鳩に見えています。

この鳩の行動から、こちらがどんなにしっかり手を打って「これで大丈夫!」と思っていても、完璧ということは無いということを改めて思い知らされました。「頭で考える事」と「実際」とは必ずずれがあります。だからこそ多様な見方を身につけ他者からの意見に真摯に耳を傾け深く考えとともに、実際にやってみて失敗を修正しながら事を成し遂げることが大切なのだと感じています。

子ども達もしっかり考え、失敗を繰り返しながらも粘り強く取り組みやり遂げていく力をつけてほしいと願っています。



★★お知らせ★★

学校便りは、保護者ならびに地域ともにWeb配信とさせていただきます。HPをご覧ください。保護者には発行時にメールでお知らせします。あわせてブログも随時更新しますのでご覧ください。今後PTAの活動の様子もHPで紹介していく予定です。



1年生を迎える会



1年生を迎える会がありました。5・6年生の運営委員が中心となって、全員合唱や学校クイズ、縦割り班でのゲームをしてみんなで楽しめる時間を過ごしました。1年生は、お礼に元気いっぱいの校歌を披露しました。



大豆の種まき



3年生は、畑ボランティアさんのご指導のもと、大豆の種まきをしました。国語で「姿を変える大豆」という単元の学習するため成長を観察すると共に枝豆や大豆の収穫体験をします。秋にはみそ造りも行い、大豆がいろいろな者に使われていくことを学習していきます。

トマトの苗植え

2年生はトマトの苗を植えました。これから、毎日水やりなどのお世話をしながら成長の様子を見たり、実ったトマトの収穫を体験したりします。



全国各地で連日のように、小学生が巻き込まれる交通事故や事件が報道されています。学校では、入学してすぐの1年生、自転車に乗っても良い学年の3年生で、交通安全教室を実施しています。また、本年度は4月に緊急時の保護者への児童引き渡し訓練も実施しました。

1年交通安全教室



3年交通安全教室



引き渡し訓練



集団下校訓練

